

「第3期瑞穂市まち・ひと・しごと創生総合戦略（案）」に対するパブリックコメントの実施結果について

1. パブリックコメントの実施状況

- (1) 募集期間 令和7年3月7日（金）～令和7年3月27日（木）
- (2) 提出状況 2件提出（直接提出2件）

2. 意見および市の考え方

※ ご意見の内容については、趣旨を損なわない程度に一部要約しています。

No	該当箇所	意見	市の考え方
1	36頁 結婚・妊娠・出産・子育てに関する支援の充実	雨や雪の日、真冬でも子どもたちが安心して遊べる室内の施設を作って欲しい。近隣市のショッピングモールには子どもが遊べるテナントがあるが、有料である。無料でなくても良いが1日500円程度で遊べる同じような施設があると子育て世代の方は助かると思う。	<p>子どもが遊べる屋内施設としては、</p> <p><未就園児></p> <ul style="list-style-type: none"> ・別府保育所地域子育て支援センター（土日閉館。詳細はhttps://www.city.mizuho.lg.jp/4473.htm） <p><未就学児></p> <ul style="list-style-type: none"> ・牛牧北部防災コミュニティセンター なかよしルーム ・牛牧南部コミュニティセンター プレイルーム ・本田コミュニティセンター プレイルーム <p>などがあり、子ども向けの講座や様々な体験活動なども行っています。</p> <p>また、ご意見の趣旨とは少し異なりますが、瑞穂総合クラブでは、小中学生を対象にスポーツ系、文化系の講座を多数実施しております。</p> <p>加えて、時期は未定ですが、ココロかさなるCCNセンターを改修し、誰もが気軽に立ち寄れるフリースペースを整備することや、指定管理制度導入により西部複合センターにて随時イベントなどを開催することを予定しています。</p> <p>いただいたご意見も参考に今後の公共施設の在り方について考えてまいります。</p>

2	<p>39 頁</p> <p>教育力の向上—安全・安心な学校づくりの推進—いじめ等の未然防止の取組を推進します。</p>	<p>いじめの未然防止のために具体的に以下の取組を提案します。</p> <p>①なぜ、いじめが起きるのか、なぜ助け合うことが必要なのかを授業で学ぶ。</p> <p>②コミュニケーションに関する事業の実施…自分と他人の感性の違い、自分の伝えたいことを相手に正確に伝えることの難しさ、相手の真意を正確に把握することの難しさなどを学ぶ</p> <p>③いじめの原因は嫉妬心です。心が満たされていない人が行います。いじめの撲滅のためには自己肯定感を高める教育の実施。自分が多くの人に支えられて生きていることを当たり前に思わずに感謝する心を持ってもらえる教育の実施。</p>	<p>市が定める「瑞穂市いじめ防止基本方針」では、いじめの防止に向けた具体的な施策として「全教育活動を通じた道徳教育と人権教育の推進、体験活動の充実」「家庭や地域との連携強化」等を実施することとしています。</p> <p>ご提案のとおり、小中学校では、主に「教科や道徳の授業」、「人権教育の取組」を通して、「思いやり」「感謝」「友情」「相互理解」「生命の尊さ」等について考えたり、人権感覚の向上等を図ったりするための指導を通して、「いじめ」についても学ぶ機会を位置付けています。また、授業においては、「児童生徒が主体的・対話的に学ぶ授業づくり」を大切に、「自己存在感」「共感的な人間関係」「自己決定の場の提供」「安全・安心な雰囲気づくり」の視点を意識しながら授業づくりに取り組んでいます。</p> <p>この他にも、「異年齢集団による縦割り活動」「児童生徒同士で行う『よさ見つけ』」「児童生徒によるボランティア活動（挨拶、清掃等）」「情報モラル教育」を通して、周りの人と関わることや多くの方への感謝の気持ちをもつことの大切について学んでいます。</p>
---	--	--	--